

優しさと
いたわりで築く
福祉の輪
—福祉標語入選作品から—

笠間市社協 宍戸支部だより

第127号

令和2年6月24日発行

発行 笠間市社協宍戸支部長 雨谷 高市
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画



施策

- 1 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 2 区長会、民生委員・児童委員協議会、高齢者クラブ及びまちづくり宍戸塾との連携を図る。
- 3 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 4 福祉推進員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実施する。
- 5 児童福祉事業の充実を図る。
 - (1) 小学校との連携を密にした「三世代交流事業」への協力
 - (2) 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
 - (3) 地域の教育環境整備及び登下校見守り活動に協力
- 6 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 7 各専門委員会の事業
 - (1) 青少年健全育成委員会
 - (ア) 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
 - (イ) 「小学生夏休みものづくりわくわく体験」実施
 - (ウ) 子どもを見守るプロジェクト活動の推進
 - (2) 女性部
 - (ア) 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
 - (イ) 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
 - (ウ) 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
 - (エ) 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施
 - (3) こぶしの会
 - (ア) 「配食サービス」時、高齢者との交流活動の実施
 - (イ) 高齢者によるグラウンドゴルフ大会(年2回)に対する援助活動の実施
 - (ウ) 「ししどサロン」を開催し、より充実した高齢者福祉を推進
 - (エ) 高齢者を対象とした市外研修会(自然観察会)の企画・運営
 - (2) 広報委員会
 - (ア) 「宍戸支部だより」第127号～129号の発行
 - (イ) 研修会及び視察研修への積極的参加
 - (ウ) 広報関係諸団体との交流促進

方針

令和2年度事業計画
笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を持っていきます。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めてまいりました。今後さらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様を協力を得ながら、地域に密着した事業を推進してまいります。

支部代議員会

初の開催中止
事業の正常な展開も不透明
評決は書面で
新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から令和2年度の宍戸支部総会は、やむなく中止に追い込まれました。これに伴い、本年度の予算案等の議決は、書面による回答という方式を採らせていただきます。本年度の支部事業の展開に向け、支部委員

ら高齢者まで幅広い事業を推し進めてまいりました。今後さらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様を協力を得ながら、地域に密着した事業を推進してまいります。

支部役員

- 支部長 雨谷 高市 旧陣屋2
副支部長 山本 信子 旧陣屋3
同 長谷川良亮 上町
・専門委員会委員長(部長)
(2面に掲載)
・支部委員(区長) 各行政区1名
(2面に掲載)
会計 関 令子 橋爪2
同(書記) 米川 雄一 旧陣屋2
監事 瀬谷 雅彦 松山団地3
同 桑島 健 南小泉2
同 海老澤征子 旧陣屋2
顧問 根本 芳雄 大田町2
同 伊東 勝男 中町

令和元年度 決算報告 H31.4.1～R2.3.31

収入の部 (単位:円)			
項目	予算額	決算額	増△減
繰越金	245,858	245,858	0
還元金	880,000	883,500	3,500
助成金	163,000	163,350	350
事業収入	430,000	515,920	85,920
寄付金	10,000	10,000	0
分担金	24,000	24,000	0
雑収入	0	4,569	4,569
合計	1,752,858	1,847,197	94,339

支出の部 (単位:円)			
項目	予算額	決算額	増△減
会議費	15,000	15,386	386
事務費	10,000	12,781	2,781
事業費	1,220,000	1,102,828	△117,172
青少年育成費	100,000	85,824	△14,176
女性部活動費	100,000	103,442	3,442
こぶしの会活動費	70,000	70,000	0
広報紙発行費	170,000	176,080	6,080
児童育成費	50,000	50,000	0
視察研修費	75,000	75,000	0
体育費	60,000	60,000	0
研修会参加補助費	5,000	2,000	△3,000
在宅福祉費	330,000	286,936	△43,064
高齢者補助費	50,000	50,000	0
区長会活動助成費	50,000	50,000	0
高齢者助成費	150,000	78,648	△71,352
備品購入費	10,000	14,898	4,898
需用費	300,000	330,960	30,960
雑費	35,000	32,400	△2,600
連絡調整費	15,000	0	△15,000
予備費	157,858	48,686	△109,172
合計	1,752,858	1,543,041	△209,817

収入合計1,847,197円 — 支出合計1,543,041円 = 残金304,156円 次年度へ繰り越し

令和2年度 予算書 R2.4.1～R3.3.31

収入の部 (単位:円)				
項目	本年度予算	前年度予算	増△減	付記
繰越金	304,156	245,858	58,298	前年度繰越金
還元金	880,000	880,000	0	会員会費還元金(会員会費助成額)
助成金	163,000	163,000	0	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,000 宍戸小PTA助成金 25,000
事業収入	430,000	430,000	0	福祉バザー収益金 ふるさとまつり収益金・女性部手づくり収益金 配食個人負担金
寄付金	10,000	10,000	0	地域からの寄付金
分担金	24,000	24,000	0	まちづくり宍戸塾よりコピー機リース分担代
雑収入	0	0	0	利子他
合計	1,811,156	1,752,858	58,298	

支出の部 (単位:円)				
項目	本年度予算	前年度予算	増△減	付記
会議費	15,000	15,000	0	代議員会 両委員合同打ち合わせ会他
事務費	15,000	10,000	5,000	封筒 コピー用紙 ボールペン他
事業費	1,270,000	1,220,000	50,000	
青少年育成費	100,000	100,000	0	地区懇談会等
女性部活動費	100,000	100,000	0	
こぶしの会活動費	70,000	70,000	0	
広報紙発行費	180,000	170,000	10,000	支部だより3回分
児童育成費	50,000	50,000	0	笠子連宍戸小支部活動
視察研修費	75,000	75,000	0	3回実施分
宍戸小助成費	80,000	60,000	20,000	運動会、三世代交流
研修会参加補助費	5,000	5,000	0	
在宅福祉費	330,000	330,000	0	配食12回分
高齢者補助費	50,000	50,000	0	高齢者クラブ
区長会活動助成費	50,000	50,000	0	
高齢者助成費	150,000	150,000	0	グラウンドゴルフ2回
備品購入費	30,000	10,000	20,000	
需用費	300,000	300,000	0	電話・ガス・保険料・コピー機リース代他
雑費	35,000	35,000	0	会館内コピー機カートリッジ代
連絡調整費	15,000	15,000	0	各事業実施へ向けての連絡経費
予備費	161,156	157,858	3,298	会館内の修理等
合計	1,811,156	1,752,858	58,298	

※高齢者助成費(グラウンドゴルフ大会 春・秋開催 ししどサロン経費を含む)

支部委員

支部委員長 長谷川良亮 上町
 (宍戸小学校区長兼会長)

神野 廣嗣 中町

深澤 一雄 下町

星野 登 下加賀田

青柳 弘 橋爪1

畑中 孝 橋爪2

江田 修 矢野下上郷

島田 信吾 大古山

市村 勇雄 ベリオコリナ会

川上 源重 南小泉1

塩畑 敏美 南小泉2

島田 輝彦 南小泉3

前嶋 晃司 旧陣屋1

雨谷 高市 旧陣屋2

吹野 治 旧陣屋3

海老澤尚壽 小人町

櫻井 進 八幡下

高澤 勉 八反山

細田 義人 星山

出口 澄夫 大田町1

園部 康夫 大田町2

原田 功 松山団地1

海老澤佐賀恵 松山団地2

戸崎 富雄 松山団地3

林 経昭 松山南団地

石川 敏之 豊松山アパート

村山 大貴 ひばりヶ丘団地

増淵 一成 パークタウンこまへ

青少年健全育成委員会

委員長 松田 薫 旧陣屋1

副委員長 市毛 正明 旧陣屋1

副委員長 関 令子 橋爪2

女性部

部長 小菅 栄子 中町

副部長 上沼みどり 星山配食

大根 法子 矢野下上郷

小川 福子 旧陣屋1

関 令子 橋爪2

藤木喜代子 大田町2

西村 安美 下町

こぶしの会

委員長 羽生 力 松山南団地

副委員長 山中 一義 南小泉1

広報委員会

委員長 欠

副委員長 小川 福子 旧陣屋1

民生委員・児童委員協議会

民生・児童委員 小菅 栄子 中町

大根 法子 矢野下上郷

武田 富雄 南小泉1

横倉 一男 大古山

米川 容子 旧陣屋2

青野 民男 旧陣屋3

仲野よし子 大田町1

藤木喜代子 大田町2

磯部佐智恵 松山団地2

芥川 麗子 松山団地3

岩田 幸雄 八幡下

主任児童委員 市毛 正明 旧陣屋1

たすねてみたら No.102
 デイサービス事業所を
 開所 ～宍戸駅近く～



代表 田口 裕樹

地域の皆様には、いまだに終息の先が見通せない新型コロナウイルス感染拡大問題に大変ご心配のことと、思います。また、しいのき接骨院は、平成18年にこの宍戸に開所以来、地域の皆様のご愛顧をいただいております。熱く御礼申し上げます。

この度、笠間市からデイサービス事業所指定の許可をいただき、5月1日をもって機能訓練特化型のデイサービス「しいのき接骨院リハビリデイサービス」を開所させていただきました。

私どものデイサービスは、その規模から地域密着型通所介護事業者と異なります。従って、受け入れ人数が少人数制なので一人ひとりに手厚い対応が可能です。また、接骨院が運営するという点で、足腰等個別機能訓練のほか、最新機器による血行促進、筋肉疲労の改善、マッサージ等それぞれの皆様のニーズに合わせて、たきめの細かいサービスを提供させていただきます。



校長先生にマスクを贈呈する女性部の皆さん

宍戸小に手づくりマスク287枚贈呈

「コロナウイルスにまけないぞ」

女性部手づくり会(女性部長 小菅栄子、手づくり会代表 小川福子)は、4月30日地元の宍戸小(校長 小松崎智史)児童全員に手づくりマスクを贈呈しました。

マスクは、手づくり会の会員が再休校となった4月10日以降、交

代で(三つの密をつくらないよ

う)宍戸支部会館において一枚一枚縫いあげたものです。

贈呈枚数は、児童用253枚、先生等職員用34枚で、児童用は、低学年(3年生以下(112枚))と高学年用(4年生以上(141枚))に区分して作成しました。

配食サービスを受けている

高齢者にも49枚

また、配食サービスを受けている一人暮らしの高齢者(49人)につき

まして、4月中に民生委員を通じて同じマスクを配付しました。

材料確保に苦慮

作成するに当たっては、材料不足がネックになりました。マスク

の材料となる布やゴム紐の入手が

難しく、一時は作成の断念を覚悟

ことができず、デイサービスを受けることができる方は、介護認定や要支援者認定を受けている方に限りません。高齢福祉課において基本チェックリストを受けて生活機能の低下がみられるとされた方についても、介護予防・生活支援サービス事業対象者として介護保険を利用して、サービスを受けることができます。

しいのき接骨院リハビリデイサービスは、宍戸という地域に根ざしたサービスを提供してまいります。そして、「あの頃出来たこと。今もできる。これからも出来る。」の実現をスタッフ一同でお手伝いします。

事業所の見学、体験はいつでも歓迎です。皆様のご来訪をお待ちしています。

なお、接骨院の業務につきましては、デイサービス業務時間外(午前中は午前9時まで、午後は午後4時10分から)に実施しています。ご理解をお願いいたします。

しましたが、女性部員や地域の皆さんの協力により布等の確保ができました(寄贈していただいた方々は左表のとおりです)。

手づくり会では、一人一枚限りではあまりにも少ないことと、マスクの入手難な地域の皆様にもお分けできる分も作成したいと考えており、地域の皆様の中で、マスクの材料となる布やゴム紐があれば、社協宍戸支部にご寄付をいただければ幸いです。

マスクの材料となる布等の寄贈者名

- 石原 和子様 さらし2反
- 関 令子様 さらし2反
- 小菅 栄子様 さらし2・5反
- 米川 容子様 さらし1反
- 小川 福子様 さらし1反
- 雨谷 久子様 ゆかた地1反
- 上沼みどり様 ゆかた地1反

編集後記

コロナ禍 思いもしなかった事態が世界を襲った。ほとんどの社会生活、経済活動が止まってしまった。繁華街には人が消え、ほぼ100%の人がマスクをしている。異様な光景が当然となっている。これを、予測していた筋もある。聖書、ビル・ゲイツ etc? これが、人類の歴史に大変革をもたらすという説もある。ひよつとすると我々は、歴史の稀有な時代に生きているのかも知れない。

宍戸支部も事業の推進に大きな支障をきたしている。

- ・ 配食事業休止
- ・ 地区懇談会は延期又は中止
- ・ 自然観察会等開催困難

等々である。

しかし、自粛要請解除を受け、6月9日には、グラウンドゴルフ大会を開催することができた。また、独居高齢者の皆様(49人)への配食は6月から8月まで3日間に分けて実施する予定だ。女性部において少人数で調理を行っていくという試みだ。

第2波、第3波もあると言われる中、ひとの生活が正常化するのにはまだ先のこと。数年後には、世の仕組みが変わっているかも知れない。

社協会費募集ご協力を
 例年7月は、社協会費のご協力をいただく月です。支部役員(区長、福祉推進員)そして班長の皆さんのお手伝いで地域の皆様にご協力をお願いしています。社協の活動は、地域の皆様の善意によって支えられています。本年もよろしく願います。

編集者より